

いい暮らし。まつやま

四国最大の人口50万人都市で、気候も温暖で物価も安く、通勤・通学にかかる時間の短さ全国1位(都道府県別比較)や民営賃貸住宅の家賃の安さ全国1位(県庁所在市比較)など、暮らしやすさの要素も兼ね備える本市の魅力を知ってもらい、移住につなげてもらおうと、平成29年9~12月にかけてさまざまな移住関連イベントを実施するなど、移住定住促進に取り組んでいます。

若者Uターン就職を支援

保護者向けセミナー&マツヤマカフェ

本市出身で都市部に進学した若者のUターン就職を支援するため、9月23日に市内で保護者向けセミナーを初開催しました。

企業の採用をサポートする(株)名大社の山田哲也社長と愛媛大学社会共創学部の園田雅江淮教授が講演。山田社長は「有効求人倍率は上昇しているが、企業規模で大きく異なっている」と指摘。また、就職に関する



保護者向けセミナーの様子

相談相手として、母親の影響が大きく、想像以上に子どもは圧力を感じているため、「親ができること、子どもがすべきことを明確にすべき」と訴えました。園田准教授は、最近では早期離職が多いと指摘。就職活動中に会社を判断するのは困難なため、「インターンシップや実際に働いている人の話を聞くことが効果的」としました。また、親としてできることは少ないとしながらも、「無関心ではなく、関心を寄せてほしい」と訴えました。

参加者からは「親としての心構えを学ぶことができた」「友人にも今日のセミナー内容を教えようと思う」などの声が聞かれました。



マツヤマカフェの様子



マツヤマカフェ(東京)参加者



マツヤマカフェ(大阪)参加者

また、11月に東京・大阪でUターンに興味を持つ大学生と若手社会人との交流会「マツヤマカフェ」を初開催し、東京・大阪合わせて70人が参加しました。

冒頭に松山の魅力発見セミナーを行い、Uターン就職が決まった内定者との座談会、若手社会人との交流会の3部構成で実施しました。

交流会では、松山に関するクイズ大会で緊張をほぐした後、就職活動や松山での生活・仕事内容について、

積極的に質問が出ていました。

参加学生からは「Uターン就職の魅力を感じることができた」「地元企業や内定者の話が聞けて良かった」などの声があがり、好評でした。

参加企業は次のとおりです(50音順)▶(株)伊予銀行、(株)えひめ飲料、(株)愛媛銀行、四国西濃運輸(株)、セキ(株)、(株)ダイキアクシス、トヨタカローラ愛媛(株)、南海放送(株)、ハイテクシステム(株)、(株)レデイ薬局

松山圏域6市町が連携

まつやま圏域 移住&お仕事相談会

9月30日に東京の移住・交流情報ガーデンで、松山圏域での移住相談会を初開催しました。

平成28年7月に「連携中枢都市圏」の連携協約を締結した松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町の3市3町が合同で実施。さらには、就職・創業・就農の関連4団体もブースを出展し、個別相談会を行いました。



松山市ブース

松山への移住を考えている20~60代の男女35組40人が来場し、自身の職歴や希望する業種などを基に、熱心に相談していました。

参加者からは「どのような仕事があるのか具体的に分かって良かった」「いろいろな自治体の話が聞けて良かった」などの感想が寄せられました。



個別相談会の様子

松山暮らしを模擬体験

TURN'S ツアーまつやま

本市の魅力であるコンパクトシティや自然と都市の共存、豊かな食材などを実際に現地で体感してもらおうと、首都圏在住の移住検討者を対象に移住専門誌TURN'Sと連携したツアーを12月2・3日の一泊二日で開催しました。

移住検討者を招いた現地体感ツアーは昨年度に引き続き2回目、20~60代までの幅広い世代の男女18人が参加。

4月にオープンした興居島体験滞在型交流施設「ハイムインゼルごごしま」を見学したほか、三津浜地区や市内中心部、道後地区などを散策し、先輩移住者との交流会も実施しました。



興居島の恋人岬で記念撮影

参加者からは「公共施設が充実しており、若者が多く、まちが元気で明るいと感じた」「百貨店と商店街が充実しており、地方都市としては都市機能が充実している」「以前は都会のような印象しか抱けなかったが、自然の近さが実感できたので、移住する価値があると思えた」など、現地体感ツアーならではの感想が寄せられました。


参加者の声 **マツヤマカフェ**



野本 菜央さん (東京都)

松山の企業や仕事を知るきっかけになり、Uターン就職という新たな視点も持てたのでよかったです。東京では、松山の企業の人と話す機会がないので、松山の情報を知るきっかけにもなりました。

参加者の声 **TURN'S ツアーまつやま**



谷口 徹さん・章子さん (東京都)

以前、移住フェアに参加し、松山市のブースで相談したところ、移住体感ツアーを紹介されたので参加しました。数年前に旅行で松山を訪れたときに、「松山いいな」と思っていて、今回のツアーで、市内を散策してみて、自然の豊かさやまちの活気を感じて、松山に住みたい気持ちが高まりました。

住みよい街 中四国で松山1位

日経BP社による「シティブランド・ランキング 住みよい街2017」で本市が中四国1位に選ばれました。全国のビジネスパーソンを対象に7~8月にインターネットで2万4389人を対象に実施。「安心・安全」「快適な暮らし」「生活の利便性」など8つの分野で高く評価されました。